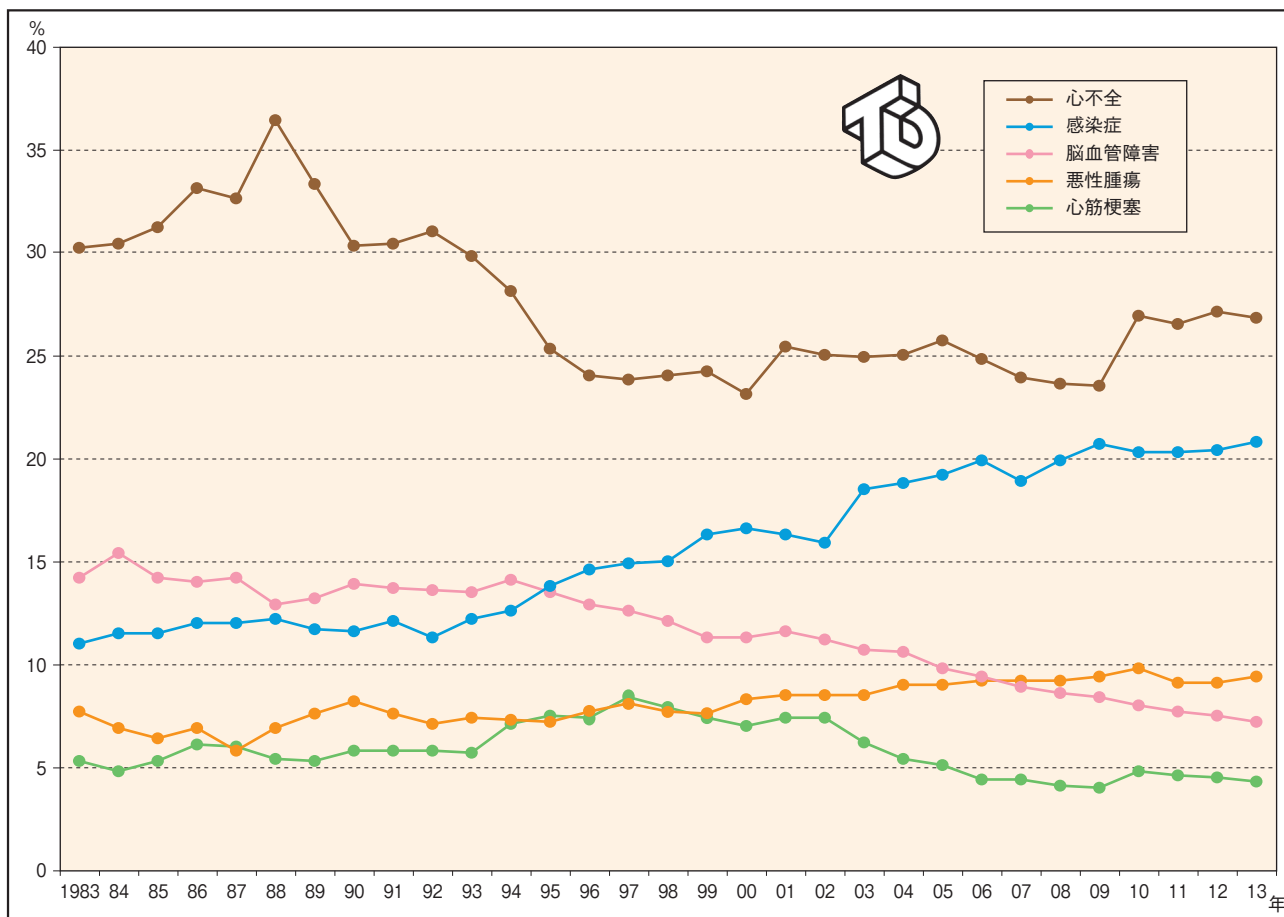


5) 死亡原因

(6) 年別死亡原因の推移 (図表26)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
心不全	30.3	30.5	31.3	33.2	32.7	36.5	33.4	30.4	30.5	31.1	29.9	28.2	25.4	24.1	23.9	24.1
感染症	11.0	11.5	11.5	12.0	12.0	12.2	11.7	11.6	12.1	11.3	12.2	12.6	13.8	14.6	14.9	15.0
脳血管障害	14.2	15.4	14.2	14.0	14.2	12.9	13.2	13.9	13.7	13.6	13.5	14.1	13.5	12.9	12.6	12.1
悪性腫瘍	7.7	6.9	6.4	6.9	5.8	6.9	7.6	8.2	7.6	7.1	7.4	7.3	7.2	7.7	8.1	7.7
心筋梗塞	5.3	4.8	5.3	6.1	6.0	5.4	5.3	5.8	5.8	5.8	5.7	7.1	7.5	7.4	8.4	7.9

年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
心不全	24.3	23.2	25.5	25.1	25.0	25.1	25.8	24.9	24.0	23.7	23.6	27.0	26.6	27.2	26.9
感染症	16.3	16.6	16.3	15.9	18.5	18.8	19.2	19.9	18.9	19.9	20.7	20.3	20.3	20.4	20.8
脳血管障害	11.3	11.3	11.6	11.2	10.7	10.6	9.8	9.4	8.9	8.6	8.4	8.1	7.7	7.5	7.2
悪性腫瘍	7.6	8.3	8.5	8.5	8.5	9.0	9.0	9.2	9.2	9.2	9.4	9.8	9.1	9.1	9.4
心筋梗塞	7.4	7.0	7.4	7.4	6.2	5.4	5.1	4.4	4.4	4.1	4.0	4.7	4.6	4.5	4.3

患者調査による集計

解説

死亡原因の第一位は心不全であった。変動はあるが、最近増加傾向にあるようにも見える。感染症による死亡は1993年頃から一貫して増加しているが、過去5年間は約20%でほぼ変化はない。脳血管障害は1994年以降一貫して漸減傾向が継続している。心筋梗塞死亡は2010年に4.7%と微増したが、全体としては、1997年の8.4%をピークに最近は漸減傾向である。悪性腫瘍死亡は2012年に比較して0.3ポイント増加した。長期的には漸増傾向にある。

心不全、脳血管障害、心筋梗塞を心血管障害による死亡と考えると、1988年には54.8%であったものが、ほぼ一定のペースで減少し、2009年には36.0%となった。しかし、2013年は38.4%であり、2010年以降はおおよそ38～40%で推移している。